様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	大分リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人　平松学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門	理学療法士科	夜・通信	68　単位	9　単位	
	作業療法士科	夜・通信	74　単位	9　単位	
	言語聴覚士科	夜・通信	71　単位	9　単位	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.hiramatsu.ac.jp/reha/disclosure（実務教員による授業の配置）

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	大分リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人　平松学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

http://www.hiramatsu.ac.jp/report

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会計関係の会社経営	2019年5月25日より2020年5月31日まで	学校法人の財務及び経営力強化への助言
非常勤	放送関係会社勤務等	2016年6月1日より2020年5月31日まで	教育・研究内容の充実に向けての助言
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大分リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人　平松学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

授業計画書（シラバス）は本校所定の様式を整備している。記載項目としては、開講年度、科目名、担当者名、単位数時間数の他、次の項目を設定している。

科目区分、開設期、授業概要、到達目標、授業計画、成績評価の方法と基準
授業で使用するテキスト、その他の教材や参考図書、その他

授業計画書（シラバス）の作成は、主となる授業担当者が作成することとしている。学校は「学習のしおり」として整理し、学期開始前までに学生全員へ配布している。「実務経験のある教員等による授業科目」については、理学療法士科、作業療法士科、言語聴覚士科とも、省令で定める基準単位数を満たしている。

授業計画書の公表方法	http://www.hiramatsu.ac.jp/reha/disclosure（シラバス）

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

授業科目の学修成果の評価方法については、学校として「履修方法および学習評価に関する規程」として定めている。その概要は以下の通りである。同規程は学生便覧に掲載し入学時に配布している。

1. 各科目の成績評価は単位認定試験および課題等により行う。
2. 単位認定試験は学期末および必要あるときに随時実施する。
3. 成績評価基準は、各科目の成績評価は100点を満点とし60点以上を合格とする。
4. 60点未満の不合格者については再試験を実施する。
5. 再試験は60点以上を合格とし、60点以上であっても科目成績は60点と記録する。
6. 学籍簿への記録は以下の区分により行う。

評定	評価区分
S	90点以上
A	80点以上
B	70点以上
C	60点以上

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 学修状況を表す客観的な指標として、GPA を採用している。 1．ポイントの設定 1）科目の成績評価に応じて 5 段階（4.0、3.0、2.0、1.0、0）の数値（グレードポイント）を設定する。 2）受講を途中でやめた科目や不合格科目は成績評価を 0 点とする。 2．GPA の計算方法 各履修科目のグレードポイントに、科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で除した結果を GPA とする。 3．GPA の判定基準と学習支援 1）個々の学生の学修状況を客観的に示す指標として、学生の学習支援に活用する。 2）GPA は学期毎に算出し、試験結果通知に記載する等により学生と共有する。 3）GPA により、学生には次のような措置を行う。 学期 GPA、2.4 未満 2.0 以上：「注意」とし、学生との個別面談を実施する。 学期 GPA、2.0 未満：「警告」とし、保護者との 3 者面談を実施する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.hiramatsu.ac.jp/reha/disclosure（学修評価）
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業認定に係る規程は、本校が定める「履修方法および学習評価に関する規程」にて、所定の年限在学すること、本校学則に定められた教育課程すべての単位を修得すること等と定めている。 規程とは別に、平松学園医療福祉系専門学校 7 校に共有する「卒業認定の方針（ディプロマポリシー）」を定めている。方針では、社会のニーズに対応しながらチーム医療を担う専門職として地域社会に貢献できること、医療職として資質や技能、実践的職業能力を修得すること等としている。 これらの規程ならびに方針に則り、要件を満たした者に対し、卒業認定会議の議を経て学校長が卒業を認定し「専門士」の称号を授与することとしている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.hiramatsu.ac.jp/reha/disclosure（専門学校ポリシー）

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	大分リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人　平松学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.hiramatsu.ac.jp/report
収支計算書又は損益計算書	http://www.hiramatsu.ac.jp/report
財産目録	http://www.hiramatsu.ac.jp/report
事業報告書	http://www.hiramatsu.ac.jp/report
監事による監査報告（書）	http://www.hiramatsu.ac.jp/report

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

【理学療法士科】

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
医療		医療専門	理学療法士科			○	医療
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼間	2,970 単位時間／107 単位	1,350 単位時間/60 単位	210 単位時間/9 単位	1,380 単位時間/36 単位	0 単位時間/0 単位	30 単位時間/2 単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
９０人	１０１人	０人	７人	４９人	５６人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各科目の授業計画書（シラバス）は本校所定の様式を整備している。授業計画書の記載項目は各授業の授業概要、到達目標、授業内容、成績評価の方法と基準、授業で使用するテキスト等を明記している。主となる授業担当者が作成し、学期開始時に「学習のしおり」として整理し学生へ配布している。 年間の授業計画は、「学習のしおり」とともに１年間の計画を学生へ提示している。記載内容は、各学年の年間の行事予定、臨床実習期間の他、授業等に係るものでは講義開始日、講義終了日、補講日、単位認定試験期間等である。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の学修成果の評価方法は「履修方法および学習評価に関する規程」に定めている。概要は以下の通りである。 1. 各科目の成績評価は単位認定試験および課題等により行う。 2. 単位認定試験は学期末および必要あるときに随時実施する。 3. 成績評価基準は、各科目の成績評価は 100 点を満点とし 60 点以上を合格とする。 4. 60 点未満の不合格者については再試験を実施する。

5.再試験は60点以上を合格とし60点以上であっても科目成績は60点と記録する。
6. 学籍簿への記録は以下の区分により行う。

評定	評価区分
S	90 点以上
A	80 点以上
B	70 点以上
C	60 点以上

卒業・進級の認定基準

（概要）

「平松学園医療福祉系専門学校ポリシー（ディプロマポリシー）」を定め公表している。

卒業認定及び進級認定に関する方針は、大分リハビリテーション専門学校・学生便覧「履修方法および学習評価に関する規定」にて定めている。

本校学則に定められた教育課程すべての単位を修得し、また、所定の在学期間、出席日数を満たした者が卒業要件を有することができる。単位修得は、科目ごとに厳格な成績評価を行い、学内にて進級判定会議の議を経て進級の認定を行っている。

卒業の認定については、上記に加え、本校が定める「広く社会に貢献できる人間性豊かな医療専門職を育成する」という教育目標に従い、社会のニーズに対応しながら、チーム医療を担う専門職として地域社会に貢献できるよう、ディプロマポリシーに定める資質や技能、実践的職業能力を修得することが求められる。これらの要件を満たした者に対し、卒業認定会議の議を経て、学校長が卒業を認定し、「専門士」の称号を授与する。

学修支援等

（概要）

本校では、学生の日々の出席状況、友人環境、生活状況の把握、授業態度、受講状況、学修状況等、一貫した学生の学修支援として、すべての学生を対象に次のように取り組んでいる。

1）新入生ならびに在校生に対して、入学後もしくは新学期開始後、1 か月をめどに担任より個別に面談を実施する。
2）毎日ホームルームを実施し、学生の出席状況を把握し、欠席や遅刻が数日続くときには、保護者へ状況等の確認を行う。
3）他教員とも密に情報共有に努め、授業中の態度や表情等気になる学生には適宜面談を行うとともに、教員からの声掛けを行う。
4）試験前には本人と学習状況を確認し、学修計画の確認や励ましを行う。
5）単位認定試験の結果を保護者へ送付する。
6）必要に応じ保護者との 3 者面談を実施し、学生支援のための状況を共有する。
7）留年や退学に際しては、原則として必ず 3 者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
３２　人 (100%)	０　人 （　０%）	３２　人 (100%)	０　人 （　０%）

（主な就職、業界等）

主な就職分野は、医療分野、介護保険分野等である。平成 30 年度は卒業生 32 名のうち 31 名が医療分野へ就職した。1 名は家族が経営する会社へ就職した。国家試験合格率

も 100%であり、医療分野への就職を希望した者の就職率は 100%であった。具体的な就職先（5 施設抜粋）は以下のとおりである。

国東市民病院、大分県厚生連鶴見病院、大分リハビリテーション病院
臼杵市医師会立コスモス病院、津久見市医師会立津久見中央病院

（就職指導内容）

就職指導は 2 年次、3 年次と段階的、計画的に実施している。

2 年次では、就職活動の全体的なスケジュールを説明するとともに就職内定を得た 3 年生より就職活動の進め方や大切なこと、就職試験の内容など、先輩目線からの話を聞く時間を設けている。

3 年次では、就職希望調査を行うとともに、学校が作成した就職ガイドブックを配布し履歴書の書き方、面接指導、自己分析等を行っている。さらに、総合臨床実習の間には学校に届いた最新の求人情報をメール等で学生へ周知している。臨床実習終了後は、学生の志望とのマッチングを行った上で、来校された求人施設担当者と直接面談できる時間も設けている。

（主な学修成果（資格・検定等））

理学療法士国家資格取得　卒業者 32 名（平成 30 年度合格率 100%）
初級障がい者スポーツ指導員取得　32 名（1 年次取得）

（備考）（任意記載事項）

求人数について

昨年度、本校に届いた理学療法士求人数は 2,332 名（うち大分県内 149 名）であった。求人数の推移をみると、平成 20 年（10 年前）の全国求人数は 1,144 名に対し、平成 30 年度は 2,332 名（上述）と、求人数ベースでみると 2 倍に増加している。

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
９８　人	１　人	１．０　%

（中途退学の主な理由）

退学理由は志望不一致による学習動機・学習意欲の低下である。もともと就職もしくは他分野への進学を希望していた。後期に入り特に学習意欲の低下が顕著になり、結果的に後期末試験を受験せず、本人の意志により退学に至った。

（中退防止・中退者支援のための取組）

中途退学の多くは成績によるものである。それには年度末や学期末でなく、日々の学校生活より悩みや学修への取り組み状況を把握して個別に支援する必要がある。本校では一貫した学習支援として全学生を対象に次のように取り組んでいる。

1）新入生ならびに在校生に対して、入学後もしくは新学期開始後、1 か月をめどに担任より個別に面談を実施する。
2）毎日ホームルームを実施し、学生の出席状況を把握し、欠席や遅刻が数日続くときには、保護者へ状況等の確認を行う。
3）他教員とも密に情報共有に努め、授業中の態度や表情等気になる学生には適宜面談を行うとともに、教員からの声掛けを行う。
4）試験前には本人と学習状況を確認し、学修計画の確認や励ましを行う。
5）単位認定試験の結果を保護者へ送付する。
6）必要に応じ保護者との 3 者面談を実施し、学生支援のための状況を共有する。
7）留年や退学に際しては、原則として必ず 3 者面談を実施する。

【作業療法士科】

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門	作業療法士科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼間	3135 単位時間／106 単位	1830 単位時間/73 単位	150 単位時間/5 単位	1035 単位時間/23 単位	30 単位時間/1 単位	90 単位時間/4 単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90 人	97 人	0 人	6 人	56 人	62 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科目の授業計画（シラバス）は、本校所定の様式を整備している。授業計画の記載項目は授業ごとの授業内容の他、授業目標、到達目標、成績評価の方法と基準、授業で使用するテキストや参考図書を明記している。主となる授業担当者が作成し、学期開始前に「学習のしおり」として整理し学生へ配布している。

年間の授業計画は、「学習のしおり」とともに 1 年間の計画を学生へ提示している。記載内容は、各学年の年間の行事予定、臨床実習期間の他、授業等に係るものでは講義開始日、講義終了日、補講日、期末試験期間、再試験期間等である。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業科目の学修成果の評価の方法は「履修方法および学習評価に関する規程」に定めている。概要は以下の通りである。

1. 各科目の成績評価は単位認定試験および課題等により行う。
2. 単位認定試験は学期末および必要あるときに随時実施する。
3. 成績評価基準は、各科目の成績評価は 100 点を満点とし 60 点以上を合格とする。
4. 60 点未満の不合格者については再試験を実施する。
5. 再試験は 60 点以上を合格とし、60 点以上であっても科目成績は 60 点と記録する。
6. 学籍簿への記録は以下の区分により行う。

評定	評価区分
S	90 点以上
A	80 点以上
B	70 点以上
C	60 点以上

卒業・進級の認定基準

（概要）

「平松学園医療福祉系専門学校ポリシー」を定め公表している。

卒業認定及び進級認定に関する方針は、大分リハビリテーション専門学校・学生便覧「履修方法および学習評価に関する規程」に定める。本校学則に定められた教育課程すべての単位を修得し、また、所定の在学期間、出席日数を満たした者が卒業要件を有することができる。単位修得は、科目ごとに厳格な成績評価を行い、学内にて進級判定会議の議を経て進級の認定を行っている。

卒業の認定については、上記に加え、本校が定める「広く社会に貢献できる人間性豊かな医療専門職を育成する」という教育目標に従い、社会のニーズに対応しながら、チーム医療を担う専門職として地域社会に貢献できるよう、ディプロマポリシーに定

める資質や技能、実践的職業能力を修得することが求められる。 　これらの要件を満たした者に対し、卒業認定会議の議を経て、学校長が卒業を認定し、「専門士」の称号を授与する。
学修支援等
（概要） 　本校では、すべての学生を対象に次のように継続的に学習支援を実践している。 1.　新入生ならびに在校生に対して、学期開始当初に担任による個別面談を実施する 2.　毎日ホームルームを行い、学生の出席状況を確認する。欠席や遅刻が数日続くときには、保護者への状況確認などを随時行う。 3.　教員間での情報共有を常に行うように努め、講義中の態度や学習への取組みが気になる学生には、教員からの声かけを行うともに適宜面談を実施する。 4.　試験前には学生の学習状況を確認し、個別の学修計画を確認する。 5.　単位認定試験の結果を保護者へ送付する。 6.　必要に応じ保護者との面談を実施し、学生支援について情報の共有、方針の確認を行う。 7.　留年や退学に際しては、原則として 3 者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32 人 （100%）	0 人 （　0%）	32 人 （100%）	0 人 （　0%）
（主な就職、業界等） 　主な就職分野は、医療分野と介護保険分野である。平成 30 年度は卒業生 32 名うち 29 名が医療分野に就職した。国家試験合格率は 81.3%であった。また、医療分野への就職を希望した者 29 名の就職率は 100%であった。具体的な就職先は以下の通りである。 　　井野辺病院、京都大原記念病院、明和記念病院、福岡徳州会病院、諏訪の杜病院			
（就職指導内容） 　就職指導は 2 年次、3 年次と段階的、計画的に実施している。 　2 年次では、就職活動について紹介するとともに、就職が内定した 3 年生から就職活動に関する経験談を伝える機会を設けている。 　　3 年次では、就職希望調査を行うともに、本校で作成した就職ガイドブックを配布し履歴書の書き方、面接指導等を行っている。さらに、総合臨床実習の間には最新の求人情報をメールなどで学生への周知を行っている。また、国公立等の施設への就職希望者に対しては、本法人が運営する大分スクールオブビジネスにて公務員試験への対策を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 　作業療法士国家資格取得　卒業生 32 名の内 26 名（平成 30 年度合格率 81.3%） 　初級障がい者スポーツ指導員取得 28 名（1 年次取得）			
（備考）（任意記載事項） 　求人数について 　昨年度、本校に届いた作業療法士求人数は 2,816 人（うち大分県内 117 人）であった。求人数は近年増加しており、平成 29 年度と比較して 418 人（大分県内 18 人）増加している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
95 人	3 人	3.2%

（中途退学の主な理由）

家庭環境の変化と成績不振、体調を崩したことが主な理由であり、いずれも休学し退学に至った。

（中退防止・中退者支援のための取組）

状況や状態の変化を把握した際には早期に主担任と副担任が個別面談を行う。改善が見られないようであれば、適宜または定期的に個別面談を行い、保護者を含めた３者面談も行う。家庭環境の変化であれば保護者と面談し、成績不振となった学生には学習の個別指導や学習計画の確認とその作成支援、体調を崩した学生には治療をすすめるとともに学習計画の作成支援を行っている。

本校では、すべての学生を対象に次のように継続的に学習支援を実践している。

1. 新入生ならびに在校生に対して、学期開始当初に担任による個別面談を実施する
2. 毎日ホームルームを行い、学生の出席状況を確認する。欠席や遅刻が数日続くときには、保護者への状況確認などを随時行う
3. 教員間での情報共有を常に行うように努め、講義中の態度や学習への取組みが気になる学生には、教員からの声かけを行うともに適宜面談を実施する
4. 試験前には学生の学習状況を確認し、個別の学修計画を確認する
5. 単位認定試験の結果を保護者へ送付する
6. 必要に応じ保護者との面談を実施し、学生支援について情報の共有、方針の確認を行う
7. 留年や退学に際しては、原則として 3 者面談を実施する

【言語聴覚士科】

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療分野	医療専門課程	言語聴覚士科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3015 時間／99 単位	2340 時間/80 単位	105 時間/4 単位	510 時間/13 単位	0 時間/0 単位	60 時間/2 単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90 人	88 人	0 人	5 人	54 人	59 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科目の授業計画（シラバス）は、本校所定の様式を整備している。授業計画の記載項目は各授業の授業内容の他、授業概要、到達目標、成績評価の方法と基準、授業で使用するテキストや参考図書を明記している。主となる授業担当者が作成し、学期開始前に「学習のしおり」として整理し学生へ配布している。

年間の授業計画として、「学習のしおり」に 1 年間の講義計画を提示している。記載内容は、各学年の年間の行事予定、臨床実習期間の他、授業等に係わるものでは講義開始日、講義終了日、補講日、期末試験期間、再試験期間等である。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業科目の学修成果の評価の方法は「履修方法および学習評価に関する規程」に定めている。概要は以下の通りである。

1. 各科目の成績評価は単位認定試験および課題等により行う。
2. 単位認定試験は学期末および必要あるときに随時実施する。
3. 成績評価基準は、各科目の成績評価は 100 点を満点とし 60 点以上を合格とする。
4. 60 点未満の不合格者については再試験を実施する。
5. 再試験は 60 点以上を合格とし、60 点以上であっても科目成績は 60 点と記録する。
6. 学籍簿への記録は以下の区分により行う。

評定	評価区分
S	90 点以上
A	80 点以上
B	70 点以上
C	60 点以上

卒業・進級の認定基準

（概要）

「平松学園医療福祉系専門学校ポリシー」を定め公表している。

卒業認定及び進級認定に関する方針は、大分リハビリテーション専門学校・学生便覧「履修方法および学習評価に関する規定（第 11 条）」にて定める。本校学則に定められた教育課程すべての単位を修得し、所定の在学期間、出席日数を満たした者が卒業要件を有することができる。単位修得は、各科目に厳格な成績評価を行い、学内にて進級判定会議の議を経て進級の認定を行っている。

卒業の認定については、上記に加え、本校が定める「広く社会に貢献できる人間性豊かな医療専門職を育成する」という教育目標に従い、社会のニーズに対応しながら、

チーム医療を担う専門職として地域社会に貢献できるよう、ディプロマポリシーに定める資質や技能、実践的職業能力を修得することが求められる。
　これらの要件を満たした者に対し、卒業認定会議の議を経て、学校長が卒業を認定し、「専門士」の称号を授与する。

学修支援等

（概要）
　一日の授業後の５限目に課題学習を設定し、一日の学習内容を復習する時間を位置づけている。特に、学習内容につまずきのある学生は、この時間帯を活用して学生間で個人学習・ペア―学習・グループ学習等の方法により問題解決を図るように支援している。
　また２年次には授業の一環として学内で小児の言語訓練を実施している。これにより座学だけではなく、臨床に則した実践的なスキルを身に付けられるように支援している。さらに学生間で検査技術を演習する学内演習の時間帯も設けて、より臨床能力の修得が図れるように支援している。
　さらに、本校の理学・作業・言語の３科合同でＩＥＰ（多職種連携教育）を取り入れ、職業教育の基礎となるリハビリテーションのコミュニュケーション方法を修得できるように支援している。
　加えて、平松学園の医療系専門学校全体においてもスキルアップ講座を開設している。これは健康講座や英会話等のスキルを図る目的で、専門士としての理解だけではなく、将来の医療従事者としての基礎的知識や、コミュニュケーションスキル、及び幅広い教養を身に付けられるように支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33 人 （100%）	0 人 （　　0%）	33 人 （　　100%）	0 人 （　　0%）

（主な就職、業界等）
　平成 30 年度卒業生 33 名のうち、県外就職者は２名のみであった。残りの 31 名が県内に就職した。就職先の内訳は下表 1．の通りである。医療・福祉の分野に就職した者が 31 名、残り２名は一般企業に就職した。

表 1．就職先の内訳

就 職 先	就 職 者 数
1．病院	27 名
2．小児療育施設	2 名
3．高齢者福祉施設	2 名
4．その他	2 名
計	33 名

（就職指導内容）
　就職活動を始めるにあたり、２年次より段階的な指導を実施している。
就職試験までのスケジュールや具体的な活動内容については、本校の就職支援委員会で作成した「就活活動ハンドブック」にそって指導を行っている。
　また、選考試験日までを逆算し、いつの時期に、どのような取り組みを行うか等の就職試験までの取り組みを学生一人ひとりが具体的に考えて実行できるように支援し

ている。
　さらに、求人情報は就職希望者の全員に掲示して情報提供している。学生からの申し出があれば病院・福祉施設等の組織形態や業務内容についても詳細に情報提供を行っている。学生一人ひとりの就職先の決定に際しては、教員全員で学生の相談・面談に応じた支援を体制化している。
　就職試験前は、教員が面接試験や筆記試験（小論文）の対策指導を実施し、就職試験に向けた事前指導を行っている。

（主な学修成果（資格・検定等））

①国家試験の結果
　国家試験の過去3年間の合格率は以下の通りである。
平成 28 年度は 29 名が受験し全員が合格、平成 29 年度は 26 名が受験し全員合格、平成30年度は33名が受験し27名が合格した。
　表2より、3年間の本校の合格率は94.8%であり、全国の国家試験合格率は74.7%であった。よって、本校は全国を上回る高い結果を修めた。

表2．過去3年間の全国と本校の合格率

	全国合格率（平均）	本校合格率
平成28年度	75.9%	100%
平成29年度	79.3%	100%
平成30年度	68.9%	84.4%
3年間の平均	74.7%	94.8%

②手話検定試験の結果
　全国手話検定試験は、手話の講義を受講した後に学生が任意で受検している検定試験である。
　平成 27 年度から毎年受験している。過去 4 年間の受検者数と合格者数(合格率)を表3.に示す。
　平成29年度と平成30年度の2年間はクラス全員が受験して受験者数は30名を超えた。
　4年間における手話検定試験の合格率は93.8%～96.8%を修めた。

表3．過去4年間の受検者と合格率

受検年度	受検した級と受検者数	検定合格者数（合格率）
平成27年度	3級（4名）	4名　（合格率100%）
平成28年度	3級（1名）	1名（合格率100%）
平成29年度	準1級（1名） 2級（2名） 3級（28名）	30名（合格率96.8%）
平成30年度	3級（32名）	30名（合格率93.8%）

（備考）（任意記載事項）

【求人数について】
　当科に寄せられた過去10年分の求人数の推移から、平成21年度の求人数432名に対し、10年後の平成30年の求人数は1123名であった。このことより、10年間に求人数は2.3倍に上昇した。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97 人	1 人	1.0%

（中途退学の主な理由）

進路変更のため 1 名が中途退学した：
実習において適応できなかったため学内で改善すべき点を指導した。その後、再実習先に臨んだが再実習先においても変容が遂げられず、臨床実習の評価が合格点に至らず単位履修ができなかった。単位未履修が確定した段階で、学校側と本人・家族との話し合い（三者面談）をもち、今後の進路の方向性を検討した。その結果、他の職業選択に方向性を転じて退学することに至った

（中退防止・中退者支援のための取組）

中途退学の多くは成績によるものである。それには年度末や学期末でなく、日々の学校生活より悩みや学修への取り組み状況を把握して個別に支援する必要がある。本校では、一貫した学習支援として、すべての学生を対象に次のように取り組んでいる。

1) 新入生ならびに在校生に対して、入学後もしくは新学期開始後、1 か月をめどに担任より個別に面談を実施する。
2) 毎日ホームルームを実施し、学生の出席状況を把握し、欠席や遅刻が数日続くときには、保護者へ状況等の確認を行う。
3) 他教員とも密に情報共有に努め、授業中の態度や表情等気になる学生には適宜面談を行うとともに、教員からの声掛けを行う。
4) 試験前には本人と学習状況を確認し、学修計画の確認や励ましを行う。
5) 単位認定試験の結果を保護者へ送付する。
6) 必要に応じ保護者との 3 者面談を実施し、学生支援のための状況を共有する。
7) 留年や退学に際しては、原則として必ず 3 者面談を実施する。

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
理学療法士科	240,000 円	590,000 円	520,000 円	その他欄は、施設設備費と実験実習費
作業療法士科	240,000 円	590,000 円	520,000 円	その他欄は、施設設備費と実験実習費
言語聴覚士科	240,000 円	590,000 円	520,000 円	その他欄は、施設設備費と実験実習費

修学支援（任意記載事項）

１．平松奨学生減免
奨学生として前期授業料のうち 15 万円を免除する制度。各学科入学定員の 1 割以内とし、一般推薦/文化スポーツ推薦入試で選考する。

２．兄弟姉妹入学金減額制度
平松学園の医療福祉系専門学校 7 校の卒業生や在校生の兄弟姉妹が本校へ入学するに際し、入学金を 50%免除する。入学願書で本人より申告することとしている。

３．大分東明高校生入学金免除制度
大分東明高校を卒業し現役で本校へ入学する場合、入学金を全額免除する。

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
http://www.hiramatsu.ac.jp/reha/disclosure（自己点検・評価）

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

学校関係者評価の目的は、関係する企業や業界団体、卒業生、保護者等の学校関係者が、本校各学科の自己点検・評価結果について評価することを通し、自己評価結果の客観性や透明性を高めること、教育活動や学校運営について意見を得ることで今後の改善を図ること、学校関係者との連携協力を通し、特色のある学校づくりを進めることである。そして、その基本方針は、「専修学校における学校評価ガイドライン」に則り実施することを基本方針とする。

現在、学校関係者評価委員は各学科 3 名、計 9 名の委員に委嘱している。評価委員の種別は、業界団体や職能団体の役職員、実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員、保護者、卒業生など、多岐の種別に該当する委員で構成している。委員会の開催は年 1 回としている。

委員会で評価する項目は、「育成する人材像は定められているか」、「カリキュラムは体系的に編成されているか」、「成績評価、単位認定の基準は明確に定められているか」、「留年率や退学率の低減に向けた取組みがなされているか」等、10 基準 38 項目について本校各学科が実施した自己点検・評価結果について実施する。

学校関係者評価委員会で評価された内容は、学校長ならびに本校各学科の職員会議で報告し、「解決に向けた取り組みが必要」もしくは「早急に解決すべき課題」とされた項目については、学校長ならびに本校各学科の職員会議等で協議を図り、解決に向けた準備や検討、実施を図ることとする。

学校関係者評価の委員		
【理学療法士科】		
所属	任期	種別
大分県リハビリテーション専門職団体協議会	令和元年6月1日より2年間（令和3年5月31日まで）	業界団体、職能団体の役職員として
医療法人福寿会　通所介護デイサービス風香	令和元年6月1日より2年間（令和3年5月31日まで）	卒業生の保護者、実務に関する知識、技術、技能を有する企業役職員として
社会医療法人敬和会大分岡病院	令和元年6月1日より2年間（令和3年5月31日まで）	卒業生、実務に関する知識、技術、技能を有する企業役職員として
【作業療法士科】		
公益社団法人大分県作業療法協会（協会長）	令和元年7月1日より2年間（令和3年6月30日まで）	業界団体、職能団体の役職員として
医療法人ライフサポート　明和記念病院	令和元年7月1日より2年間（令和3年6月30日まで）	企業役職員として
株式会社ライフリーデイサービス楽	令和元年7月1日より2年間（令和3年6月30日まで）	卒業生として
【言語聴覚士科】		
大分県言語聴覚士協会大分こども療育センター	令和元年6月1日～令和3年5月31日	実務に関する知見を有する業界団体、職能団体の役員
大分県言語聴覚士協会大分岡病院	令和元年6月1日～令和3年5月31日	実務に関する知見を有する業界団体、職能団体の役員
大分大学附属病院	令和元年6月1日～令和3年5月31日	実務に関する知見を有する本校の卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.hiramatsu.ac.jp/reha/disclosure　（学校関係者評価） （11月前年度分公表予定）		
第三者による学校評価（任意記載事項）		
理学療法士科、作業療法士科、言語聴覚士科は、平成26年度（2014）に一般社団法人リハビリテーション教育評価機構の認定審査を受審し、3 学科ともすべての評価基準を満たしているとして同機構より認定を受けている。 認定期間は平成27（2015）年4月1日より令和2（2020）年3月31日の5年間である。来年3月で認定期間を終えることより、今年度再度同機構の認定審査を受審することとし準備を進めている。 リハビリテーション教育評価機構ホームページ（平成26年度　評価認定施設一覧） http://jcore.or.jp/accreditation.html#c2		

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）	
ホームページアドレス	URL:http://www.hiramatsu.ac.jp/reha
刊行物（年1回発行）	2020年　入学案内